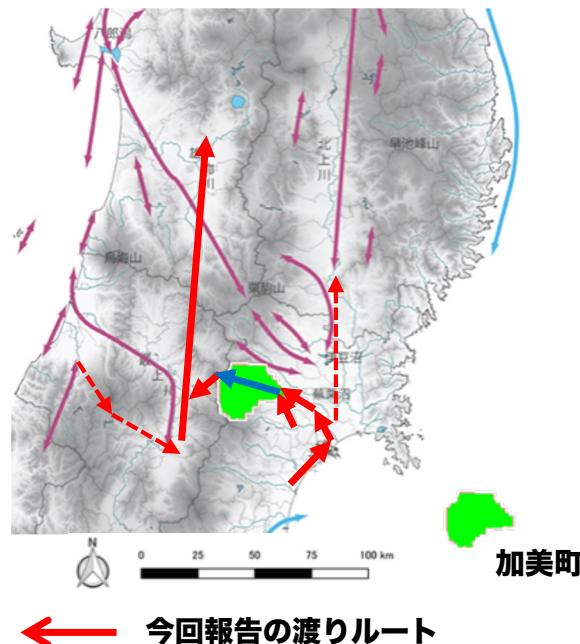


宮城県中央部（県北南縁・仙台圏）と山形県・秋田県内陸盆地におけるコハクチョウの2025年春の渡り追跡 ～カウントと個体追跡で雪解け前線を追って～

平泉秀樹

はじめに：最近わかったガンカモ類重要中継地 宮城県加美町(鳴瀬川上流域)



← 今回報告の渡りルート

平成26年度風力発電施設に係る渡り鳥・海ワシ類の情報整備委託業務報告書(環境省)

→ ガン類・ハクチョウ類の渡り経路

→ 主にハクチョウ類の渡り経路

種名	個体数（概数）			
	加美町 調査（情報含）	宮城 県内	国内	東アジア (不正確)
シジュウカラガン	1,000	5,000	5,000	5,000
マガン	3,600 (1.1万)	25万	26万	40万
コハクチョウ	5,300 (1万)*	2万	4.5万	11万
オオハクチョウ	700	1万	2.5万	6万
オナガガモ	1.4万	4.5万	15万	20-30万
小計	2.3万 (3.5万)			

太赤字は個体群の1%以上の記録、青太字は2万羽以上の水鳥。

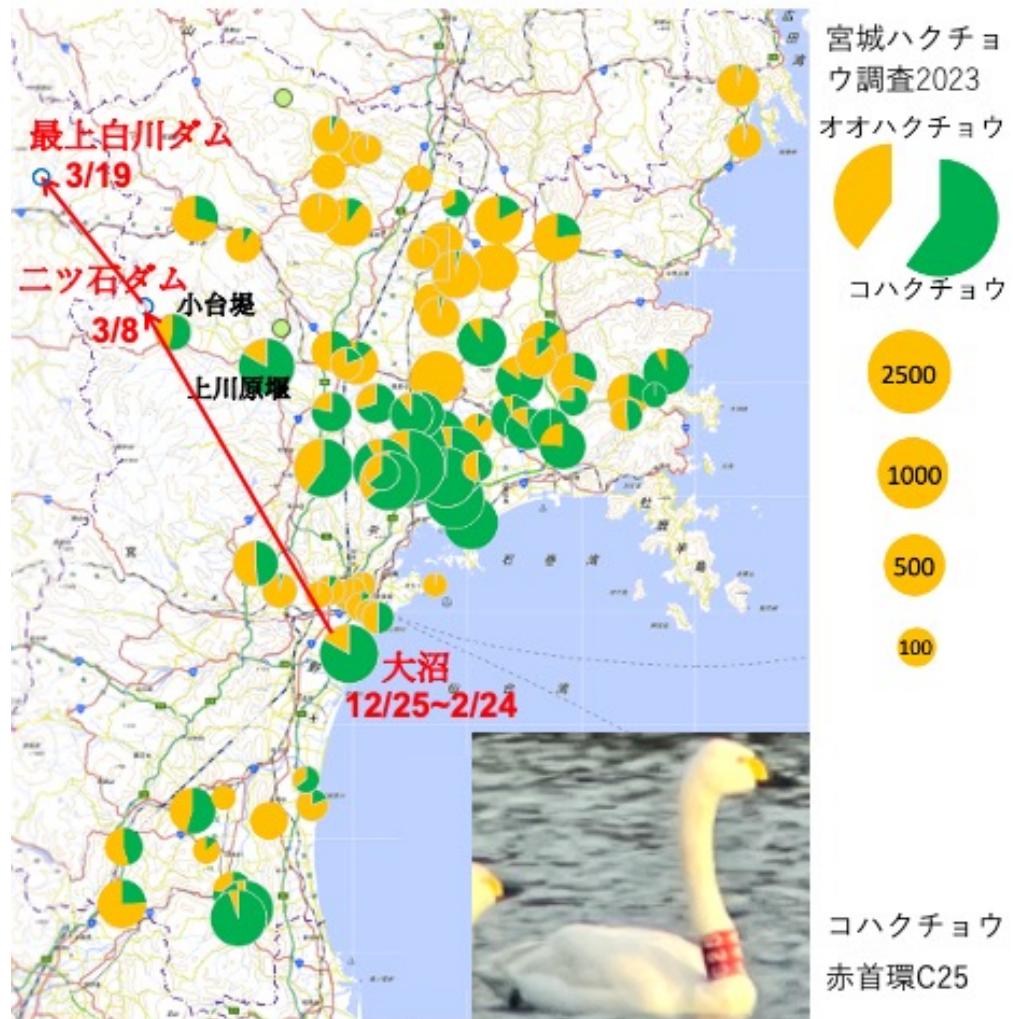
*ハクチョウ類1万羽は2022年の記録

2023年春の加美町地元グループとの調査*による記録個体数

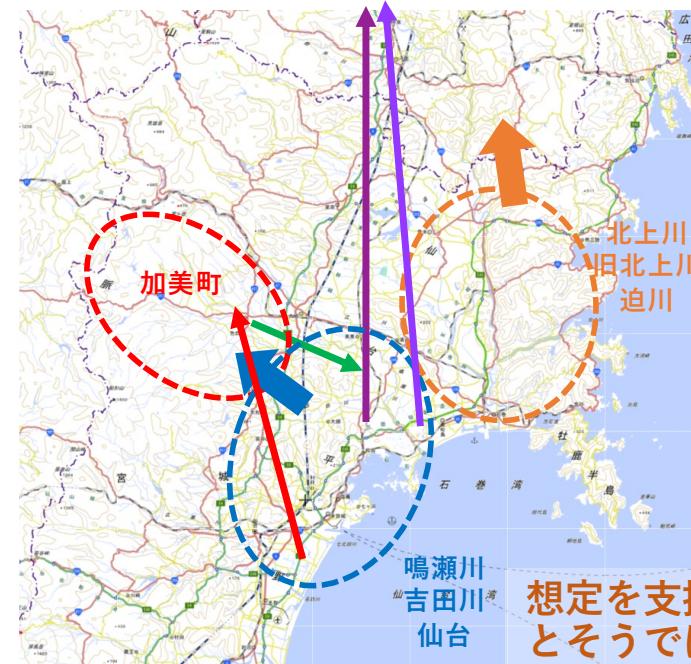
*バードリサーチ 水鳥通信2023年9月号4-5p.

2023年当時想定していた加美町への飛来地域と2024春の移動個体

2023年の宮城県のハクチョウ類の分布



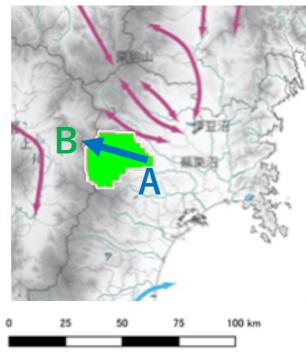
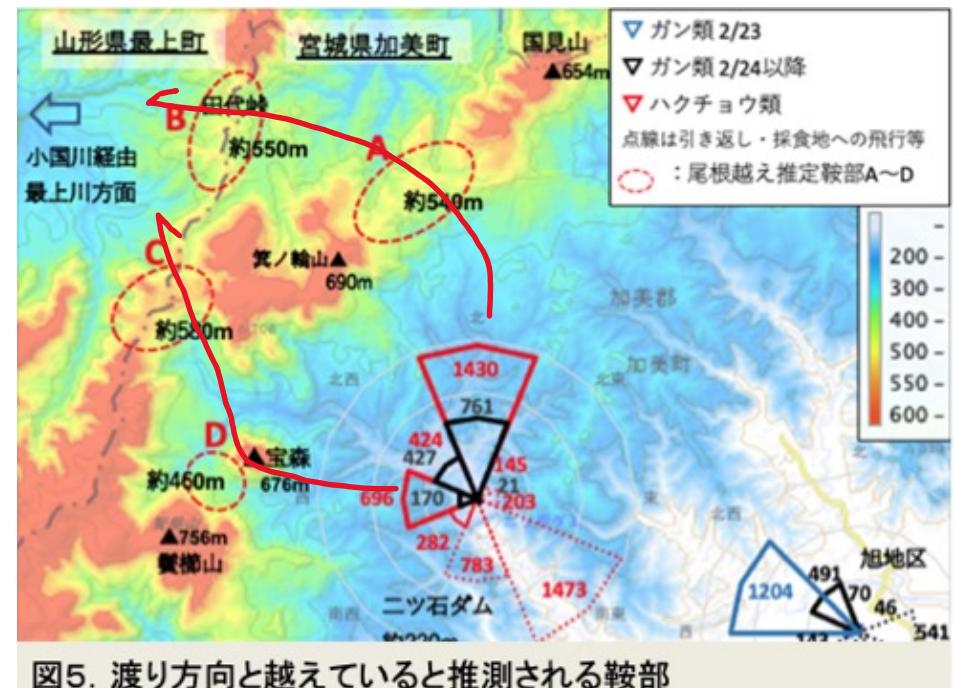
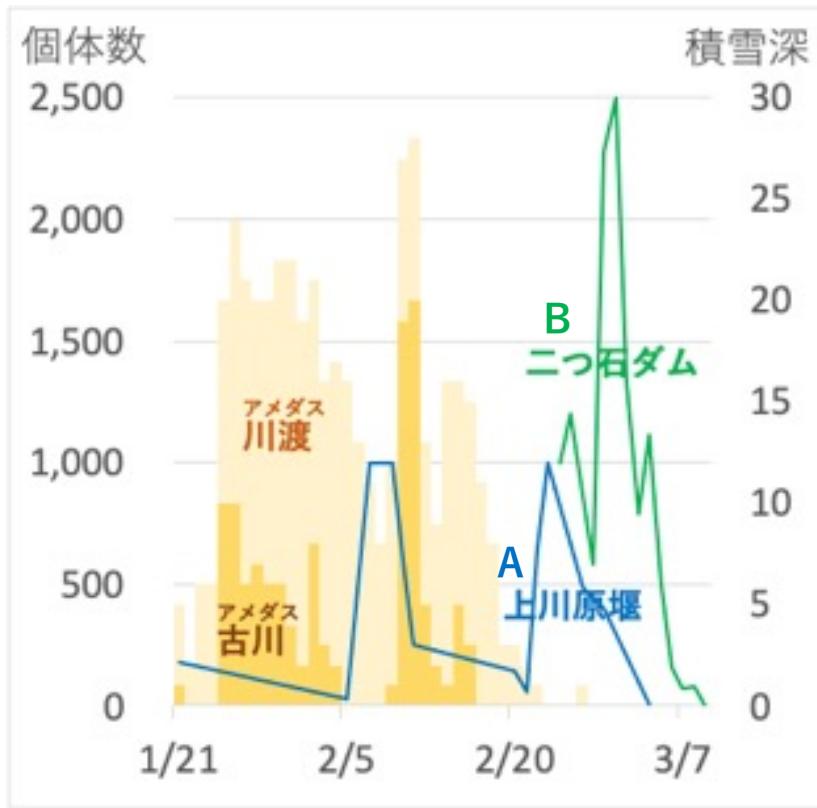
2024春に北上（岩手県北上川沿いへ）
C18 2/5鳴瀬川下流→2/14北上市
C85 2/11鶴田川→2/14矢巾町



2024春に加美町に出入り
C50 1/31加美町水田→2/9鳴瀬川中流
自GPS15A00727 2/28大沼→3/15加美町水田



2023年春の加美町内の移動状況



A・B間の採食水田では融雪に伴う上流側への移行も認められるが、まとめられた記録なし。

主な調査内容

宮城県中部越冬期（～1月中旬）

- ・首環等装着個体の探索と識別情報の記録

宮城県中部春渡り期（1月下旬～3月中旬）

- ・加美町地元グループ*への個体識別情報（隨時更新）伝達・情報提供依頼
- ・主要ねぐらの早朝カウント、加美町水田の採食群の位置・個体数記録
- ・並行して首環等装着個体探索

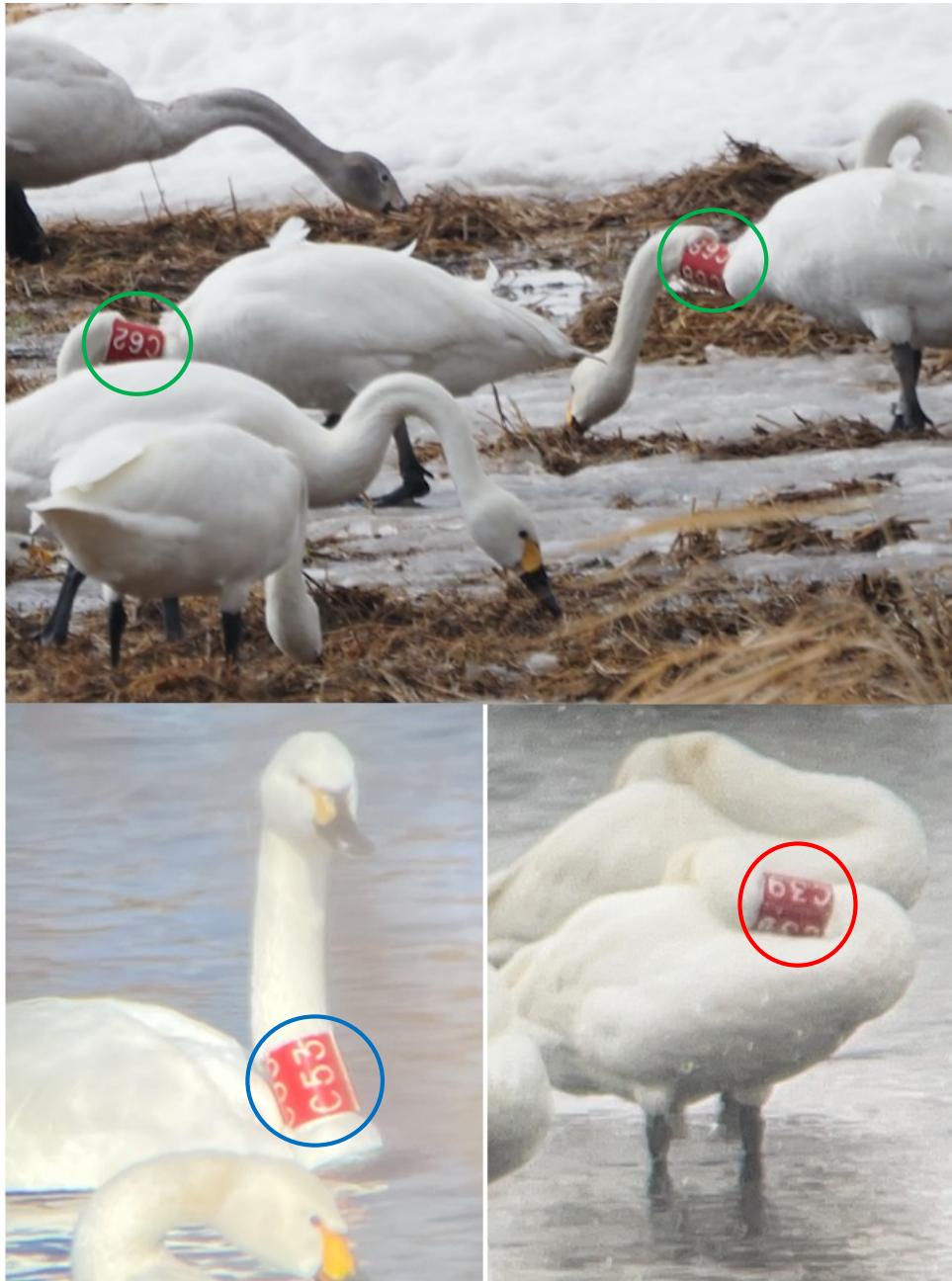
山形県・秋田県春渡り期（3月上旬～）

- ・県外団体*への個体識別情報伝達・情報提供依頼
- ・早朝巡回可能範囲のねぐらカウント、それ以外の地域の水田のまとまった採食群の位置・個体数記録
- ・並行して首環等装着個体探索

*以下の団体に情報収集に協力いただきました。

- ・加美郡を渡るガン、ハクチョウ類を未来にのこす会（ガンのこ会）
- ・日本野鳥の会山形県支部
- ・日本野鳥の会盛岡支部
- ・鶴岡市自然学習交流館ほとりあ
- ・バードリサーチ（標識コハクチョウ名簿）
- ロシア、中国ほかの標識・発信器首環装着チームにも感謝します。

渡りを追跡できた首環標識鳥



① 宮城県の越冬地→加美町→山形県

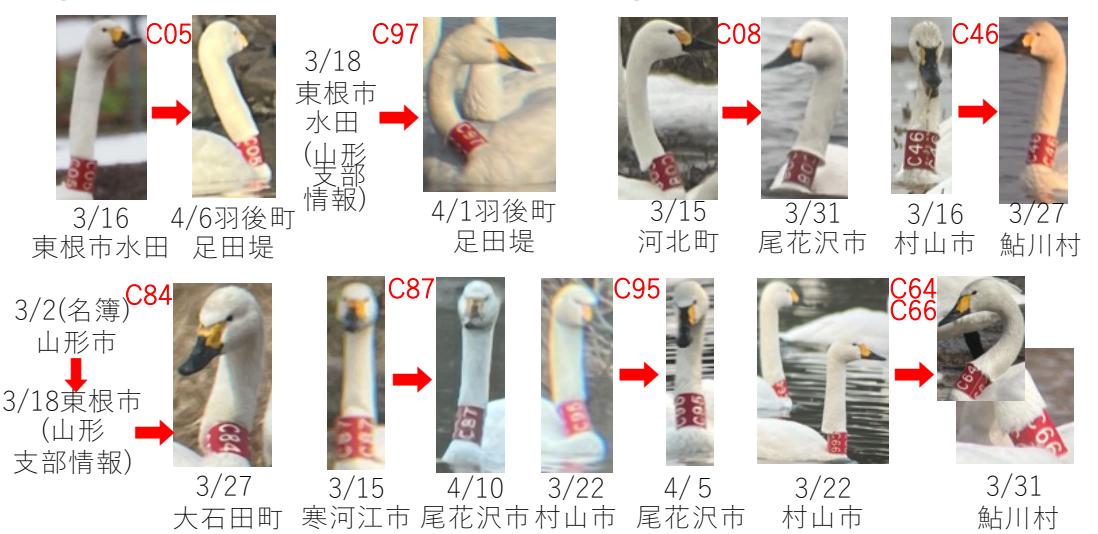


② 宮城県の越冬地→加美町

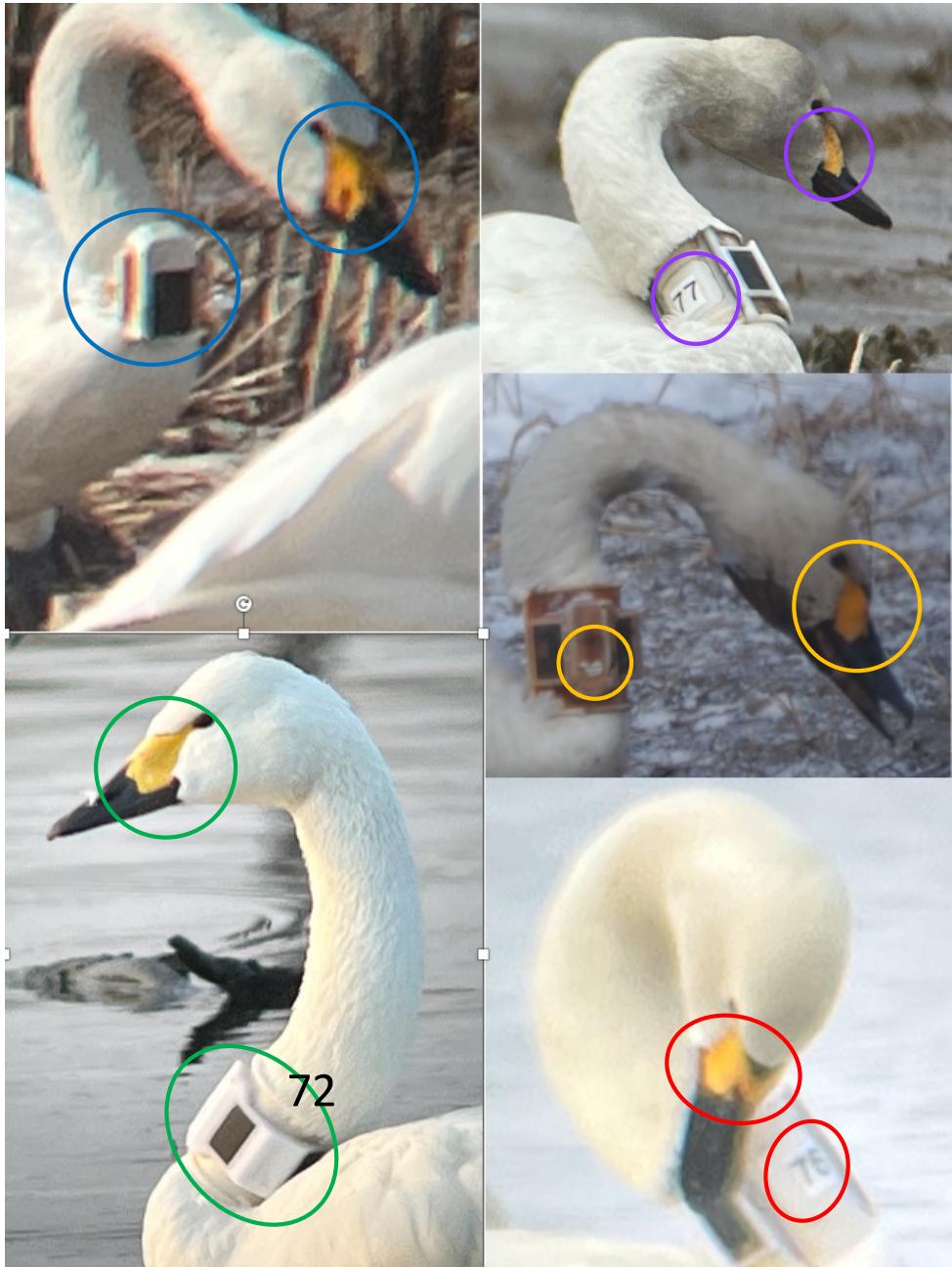


③ 宮城県→岩手県(名簿3月)

④ 山形県→秋田県

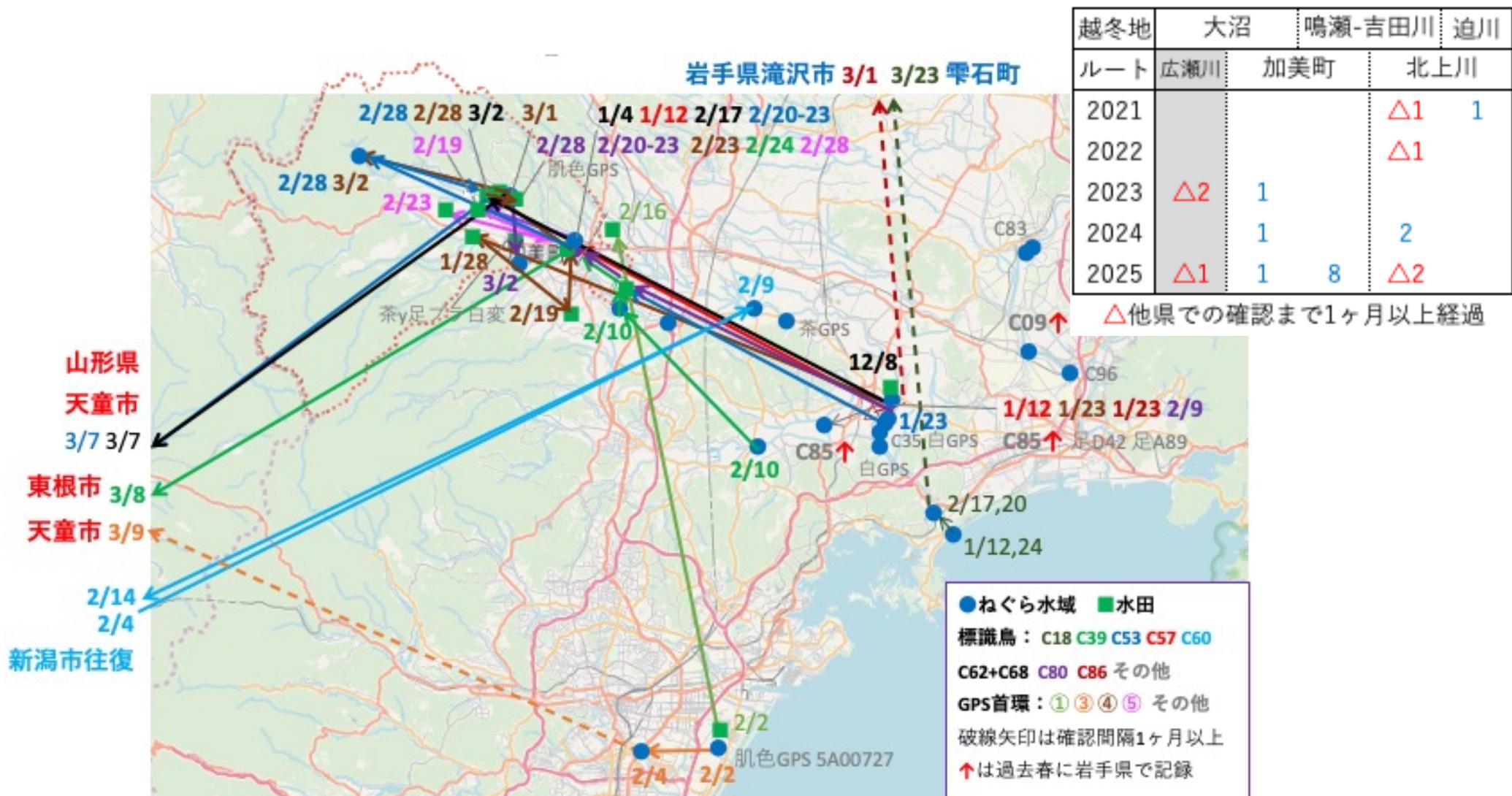


GPS首環と嘴のパターンによる個体追跡

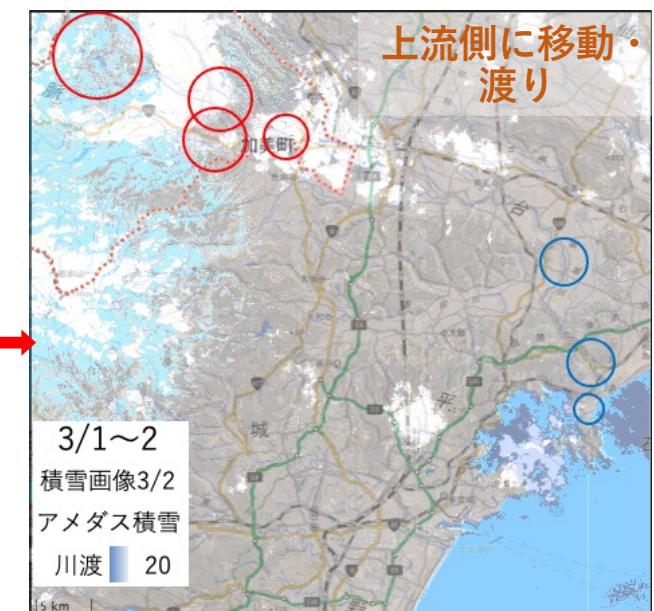
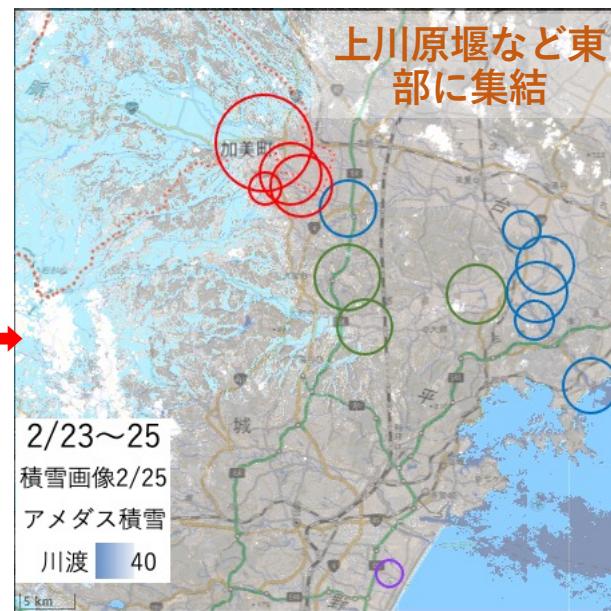
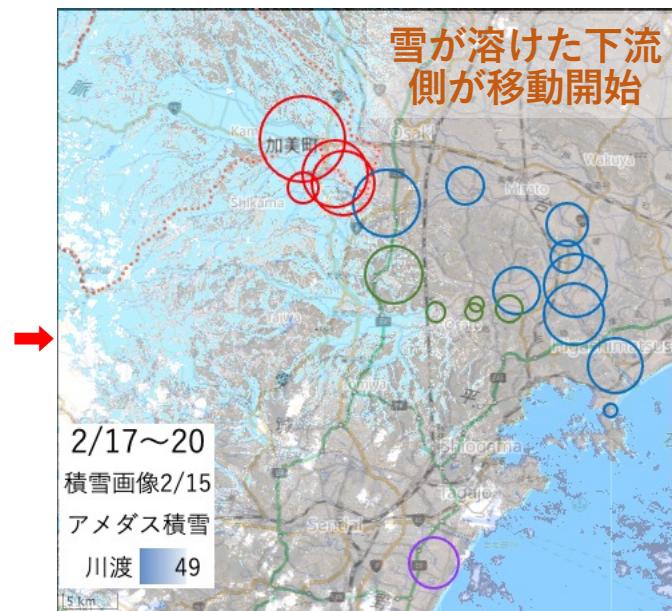
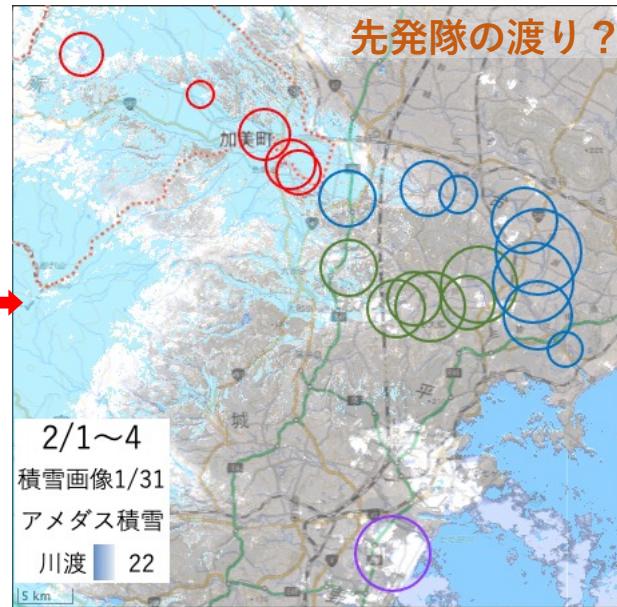
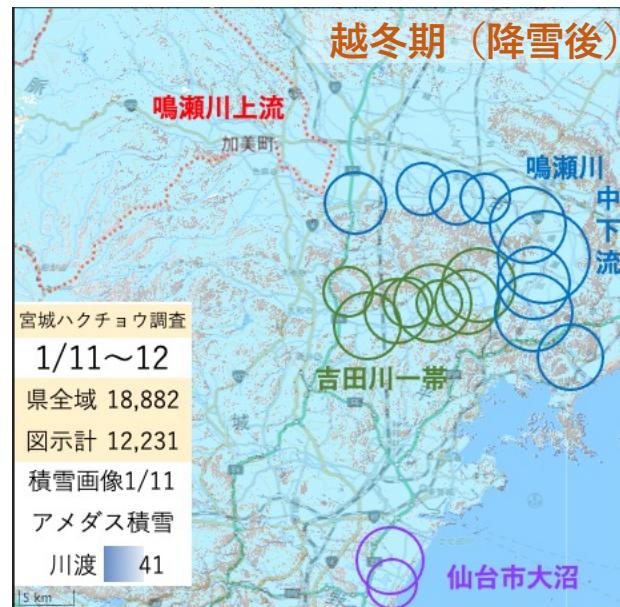


- ① 白い発信器+細い固定バンド、Yellowneb (額前嘴黄色)
-
- 2/2 仙台市大沼付近水田 2/16 大崎市水田 (加美町境界付近)
- 今季も仙台に渡来
- ② 白発信器首環 シールに77 Yellowneb
-
- 3/22 村山市 大倉溜池72と77
- ③ 白発信器首環、シールに72、Yellowneb、5A01063
-
- 1/21 仙台市赤沼 1/26,2/2 仙台市大沼 (SNS)
- 2/4 仙台市広瀬川 3/9 天童市 (山形支部情報)
- ④ 褐色発信器首環、Darky(額前嘴黒)、首環に特徴的なハゲ
-
- 1/23 美里町鳴瀬川 1/28 加美町水田
- 3/27 大石田町水田
- 4/5 尾花沢市徳良湖
- ⑤ 白発信器首環、シールに76、Yellowneb
-
- 2/19 加美町 東部水田 2/23 加美町 鳴瀬川
- 2/28 加美町 西部水田
- 3/1 加美町 田川 (ガンのこ会情報)
- 3/2 加美町 ニツ石ダム
- 2/19 加美町 東部水田 2/23 加美町 鳴瀬川
- 2/28 加美町 西部水田

首環等装着個体の移動 1 宮城県中央部



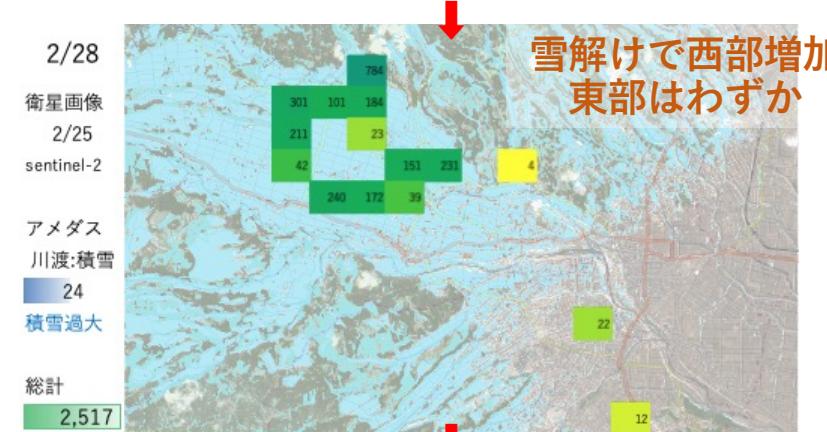
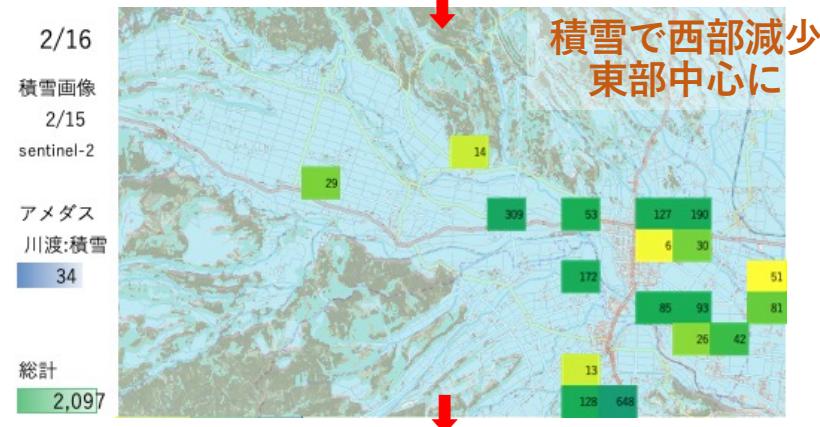
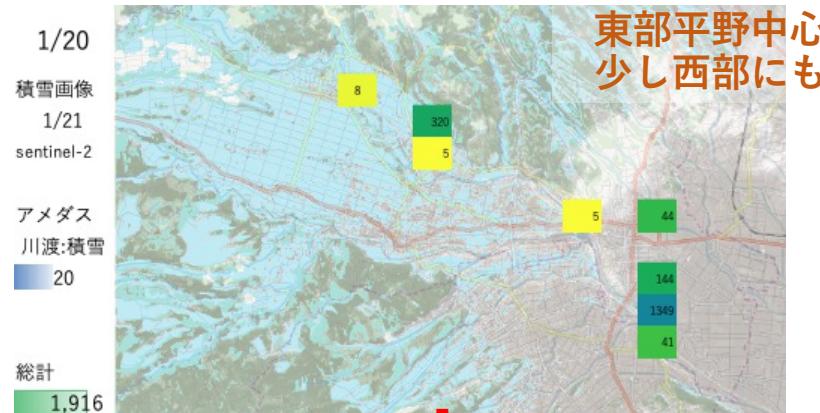
宮城県中央部の積雪とねぐら利用の推移



○ 100 500 2500
50 sentinel-2衛星NDSI解析
■積雪 □ 厚い雲の下

NDSI : Normalized Difference
Snow Index (正規化積雪指標)

宮城県加美町の積雪と採食利用水田の推移



sentinel-2衛星NDSI解析
■積雪 □厚い雲の下

10	50	100	150	250
----	----	-----	-----	-----

宮城県中央部のねぐら利用数と首環等装着個体の移動

鳴瀬川
上流

アメダス 最深積雪	山形県 山形 宮城県 川渡	17 22	30 41	13 20	2 8	18 18	57 69	31 34	32 41	28 40	14 24	4 15	0 10	0 11	0 0	0 0
調査地番号 調査地名 コハクチョウ																
- 二ツ石ダム	12/25	0	-	0	427	134	0	0	-	-	-	-	-	-	-	3/7～9 天童市・東根市
A3-3 小台堤	1/11	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
- 田川・小泉橋、鷲沢橋下流、河原橋	1/20	-	-	-	50	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
- 鳴瀬川・まわり堰上・下流	1/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
孫沢堤	2/1・3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A3-1 鳴瀬川・田川合流部	2/9・12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
- 花川	2/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
- 鳴瀬川・鳴瀬橋上下流(あゆの里)	2/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
- 鳴瀬川・色麻町四かま	2/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A3-2 鳴瀬川・高倉橋上流～国道4号線	2/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<鳴瀬川上流域>	3/2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3/4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3/8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

鳴瀬川
中流

	12/5～7	12	1/23	2/1	2/9	2/17	2/20	2/24	3/1	3/3
B9-1 鳴瀬川・志田橋	139	229	214	280	200	-	102	11	0	-
B9-3 鳴瀬川・野田橋上流水道橋付近	170	250	102	100	347	-	6	0	0	-
B9-2 鳴瀬川・東北本線鉄橋付近	55	195	21	0	43	-	0	0	0	-
B9-4 鳴瀬川・恩感橋上流	250	995	356	545	567	-	128	101	0	-
D1-1 鳴瀬川・木間塚橋上流	1,561	2,800	1,582	1,795	2,038	-	67	315	173	98
D1-2 鳴瀬川・木間塚橋下流	597	791	788	1,275	746	-	442	392	0	0
D1-3 鳴瀬川・三陸道上流	502	1,062	711	648	1,080	722	416	105	45	0
<鳴瀬川中流域>	3,274	6,322	3,774	4,643	5,021	-	1,161	924	218	98

3/1 滝沢市
3/23 雨石町

鳴瀬川
下流

	12/5～7	12	1/23	2/1	2/9	2/17	2/20	2/24	3/1	3/3
D1-4 鳴瀬川・鳴瀬大橋	786	533	3	81	206	251	295	5	168	0
- 鳴瀬川河口	0	-	277	0	0	0	0	271	0	0
D1-7 洲崎湿地	0	15	-	-	120	23	3	62	0	0
<鳴瀬川下流域>	786	548	280	81	206	371	318	279	230	0

吉田川
上流

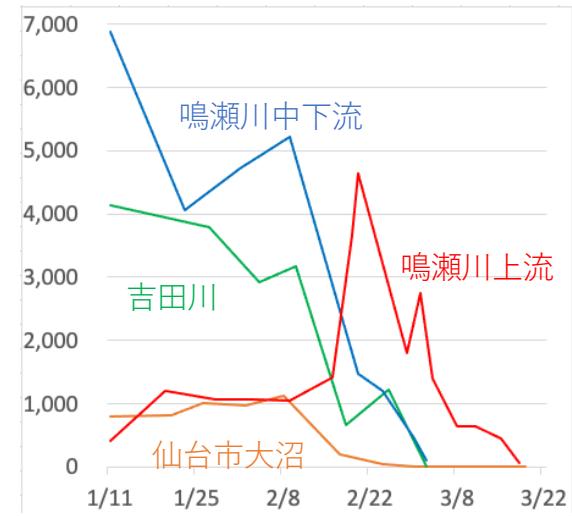
	12	1/27	2/4	2/10	2/18	2/25	3/3	
D2-1 直沢堤	251	198	623	310	150	351	555	0
D2-8 吉田川・新幹線上流(悟渓寺橋付近)	253	600	195	0	249	0	274	0
D2-9 吉田川・船川大橋～新幹線	262	517	143	342	313	33	33	0
<直沢堤周辺>	766	1,315	961	652	712	384	862	0

吉田川
中流

	12/7	12	1/27	2/4	2/10	2/18	2/25	3/3
D2-2 大松沢	264	201	709	259	376	7	0	0
D2-3 鶴田川・県道146号下鶴田橋	49	163	24	21	125	24	0	0
D2-4 鶴田川・鶴田大橋～下志田橋	875	892	1,118	1,056	1,004	167	356	0
D2-5 吉田川・大郷大橋上流	707	1,066	594	679	706	28	10	0
D2-6 吉田川・大郷大橋下流	422	509	377	264	259	52	0	0
<吉田川中流域>	2,317	2,831	2,822	2,279	2,470	278	366	0

大沼

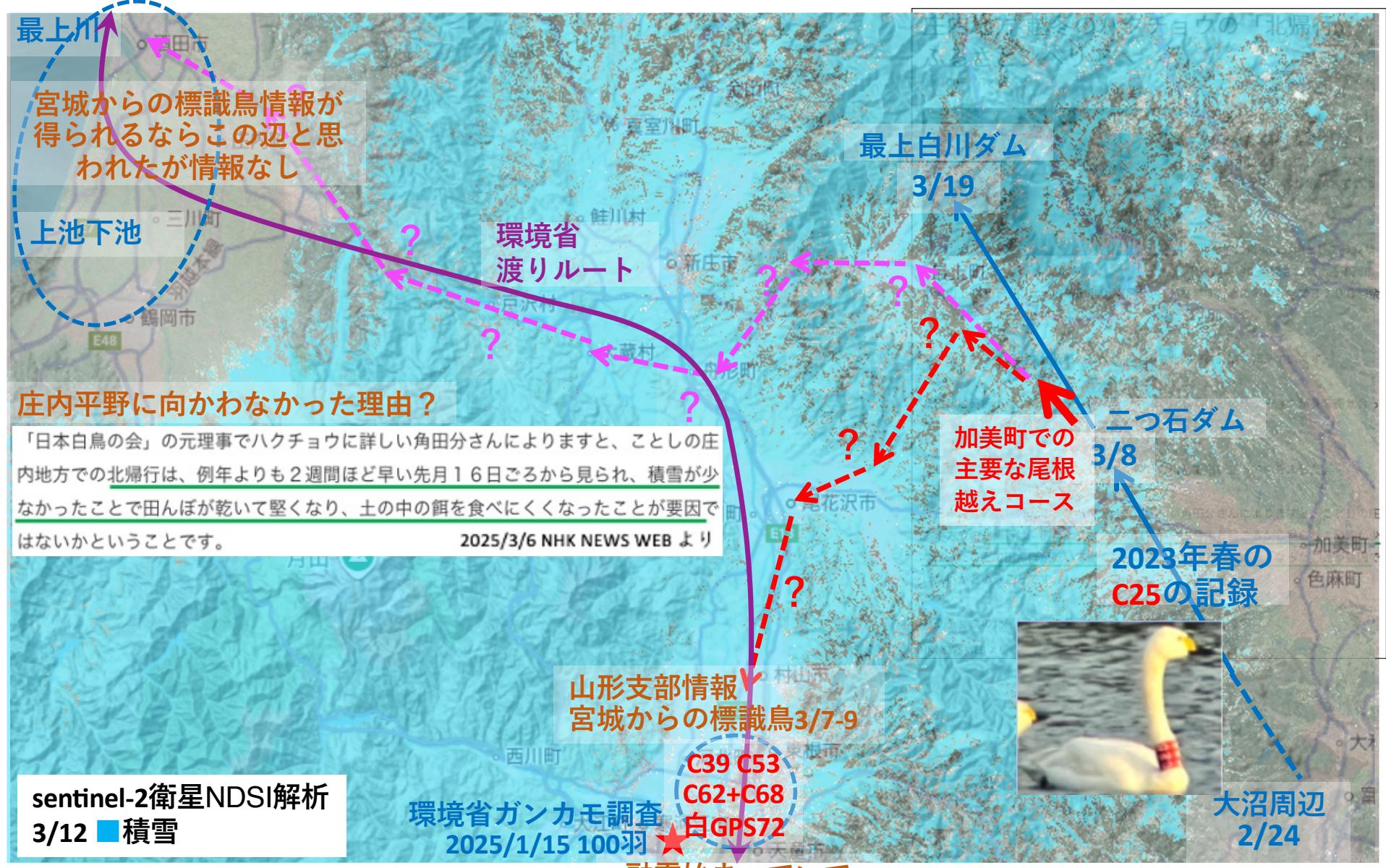
	1/6	1/11	1/21	1/26	2/2	2/8	2/17	2/24	3/1
E1-1 大沼(+赤沼)	807	596	791	1,002	952	941	210	52	11
E1-7 南長沼	134	197	35	13	23	186	0	0	0
<仙台市大沼周辺>	941	793	826	1,015	975	1,127	210	52	11



まとめ1

- ・ 標識鳥等の移動とねぐら個体数の推移から宮城県中部で越冬するコハクチョウの過半数は加美町を経由して山形県に渡っていくことが確認できた。
- ・ 首環標識以外に発信器首環と嘴のパターンの組み合わせによる追跡も有効だった。
- ・ 鳴瀬川中・下流～大沼からは雪解けを機に加美町へ移動しているようで、加美町東部の上川原堰に集結した後に水田域の雪解けを追って採食地やねぐらを上流側に移動して行った。
- ・ 今回の調査でも鳴瀬川下流側や支流の吉田川で越冬しているコハクチョウの中には岩手県の北上川沿いを北上するものがあることが確認され、移動速度が遅いため雪解けを追った移動をしていると推測される。
- ・ 仙台市大沼からは広瀬川を西へ遡って山形県に入るものが少數いるのかもしれないが情報不足。

山形県に入ってからどこに行くのか？

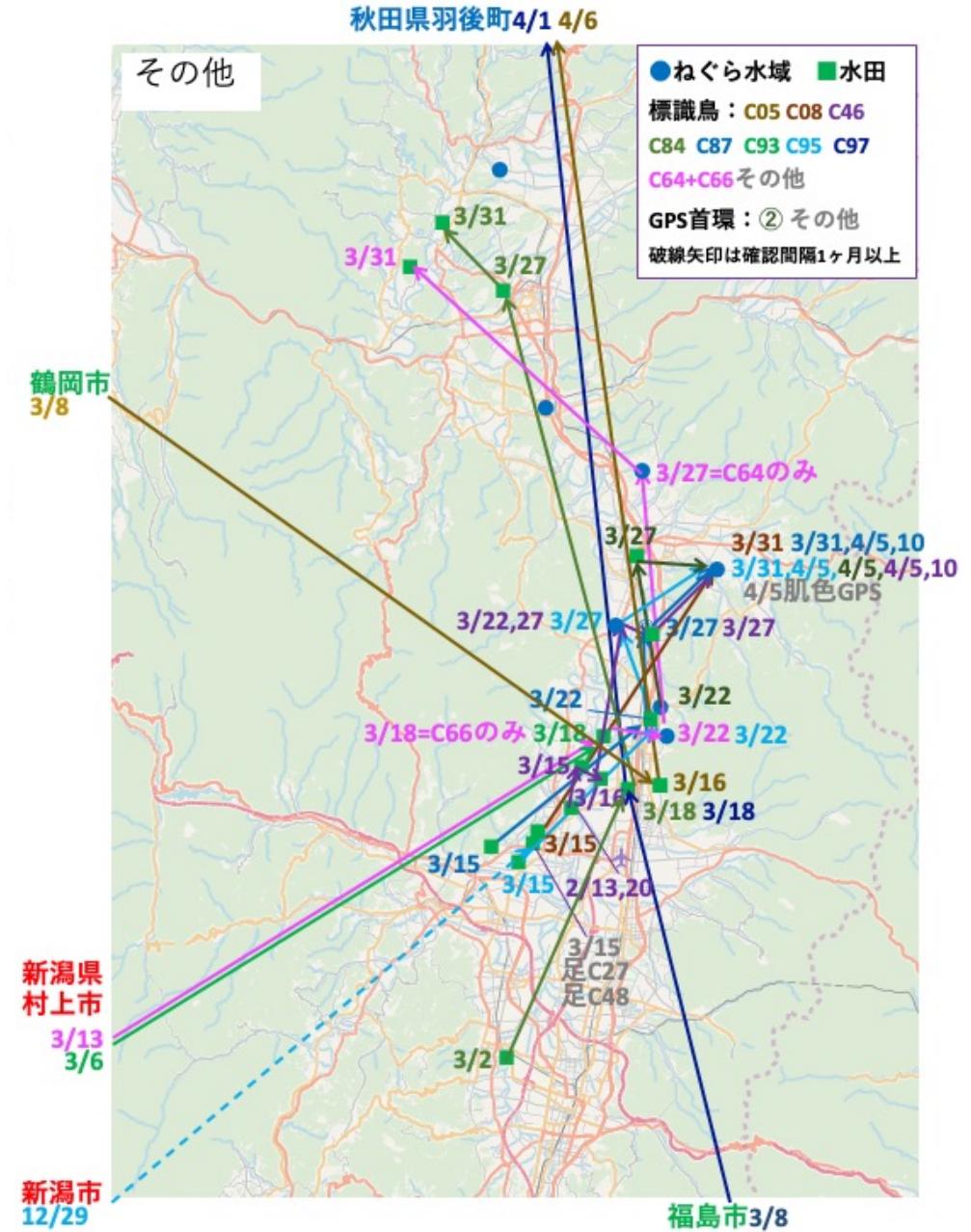
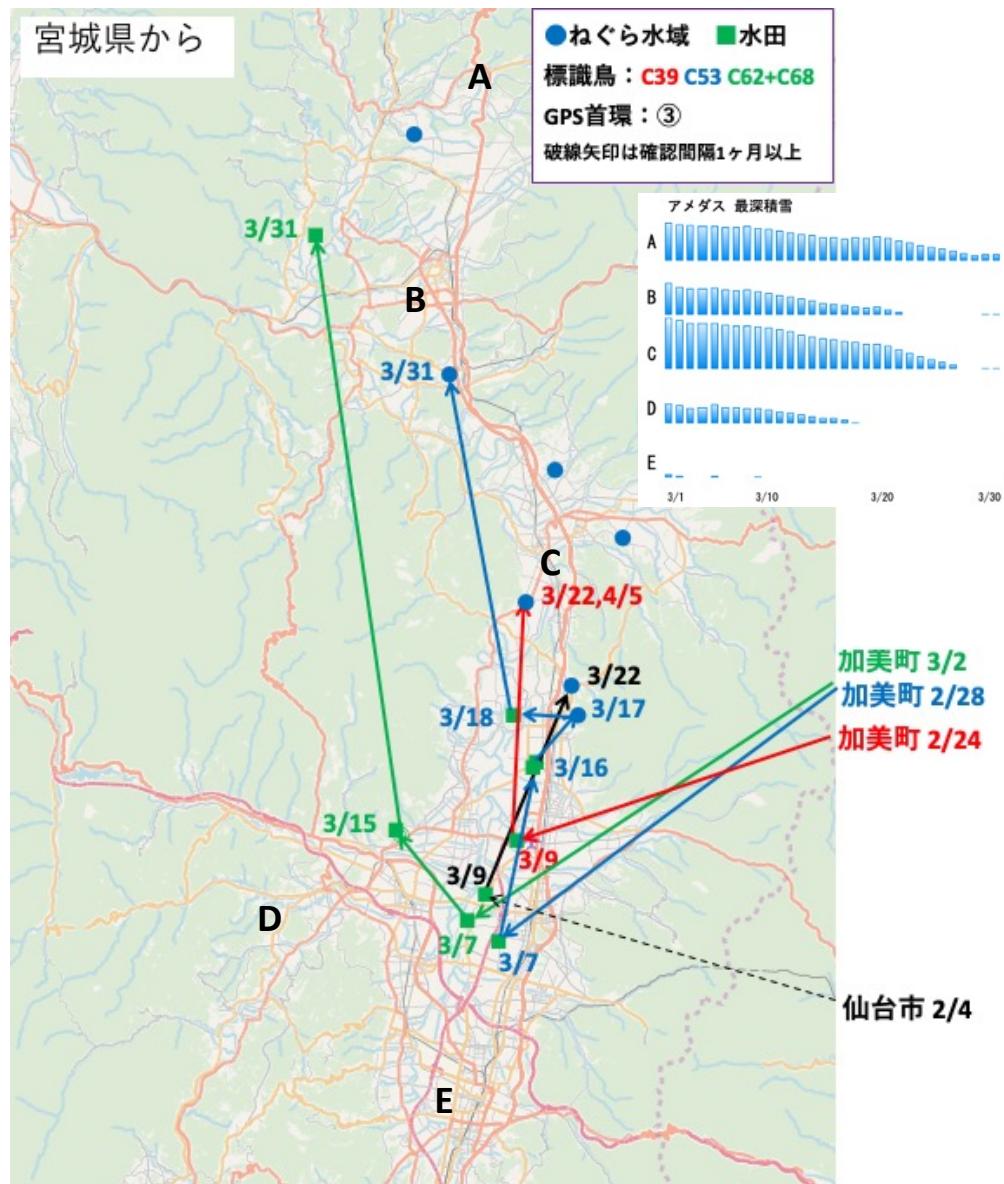


融雪始まっていて
越冬群もいたらしい

標識鳥探しに山形へ 3/15-16の観察行



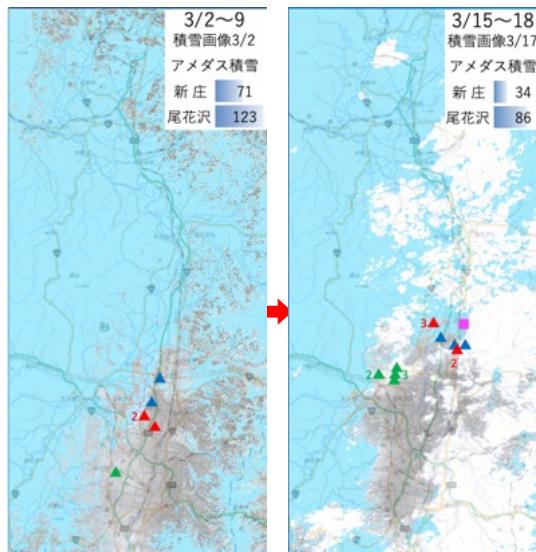
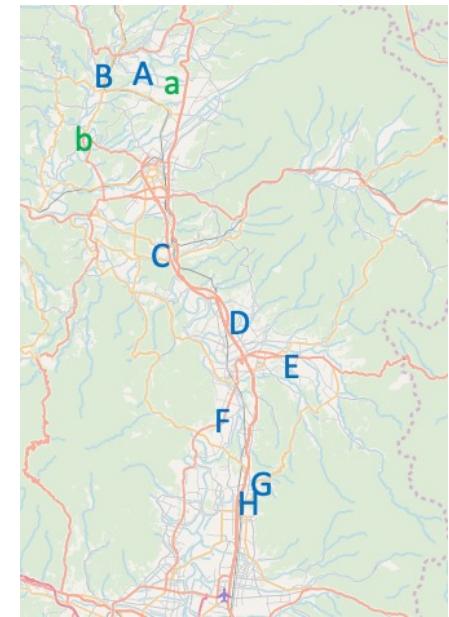
首環等装着個体の移動 2 山形県村山盆地～新庄盆地



山形県村山・新庄のねぐら・採食水田利用個体数

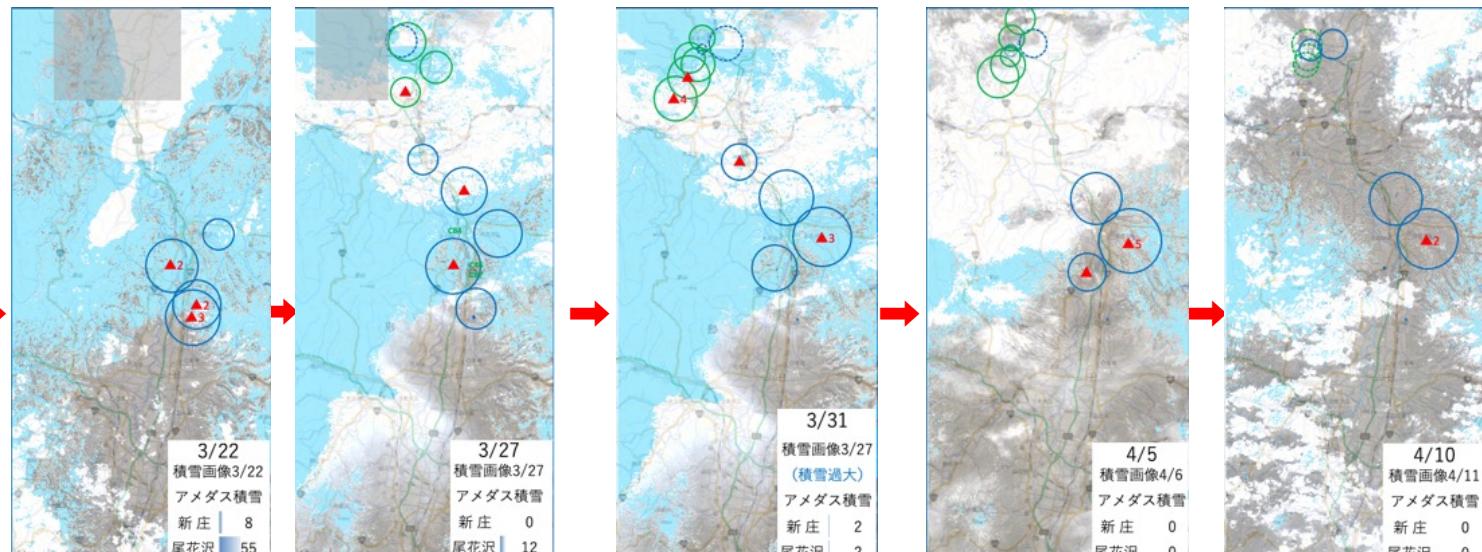
山形県新庄盆地~村山盆地		3/22	3/27	3/31	4/5	4/10	4/15
新庄盆地 ねぐら水域 (観察時間遅い)	A 野々村ため池	-	237	296	143	182	16
	B 真室川、鮎川合流部	-	-	26	34	85	0
	C 舟形町湛水田	-	200	349	0	0	-
	小計	-	437	671	177	267	16
水田	a 盆地北部	-	857	94	0	0	0
	b 鮎川・真室川沿い	-	-	2,016	1,131	164	0
	小計	-	857	2,485	1,131	164	0
尾花沢盆地 ねぐら水域	D 野黒沢堤	-	1,057	2,118	1,571	1,790	0
	E 徳良湖	248	1,239	3,518	4,893	3,878	0
	F 田沢大堤	1,800	2,408	878	409	10	-
村山盆地	G 大倉溜池	1,212	561	0	-	-	-
	H 湯沢沼	2,440	12	2	-	-	-
	小計	5,700	5,277	6,516	6,873	5,678	0
総計*		5,700	6,134	9,350	8,004	5,945	16

* 重複可能性があるねぐらと周辺水田は多い方を採用



首環装着個体確認地点

水田: ▲ 3/2 ▲ 3/7 ▲ 3/9 水田: ▲ 3/15 ▲ 3/16 ▲ 3/18
ねぐら水域: ■ 3/17



ねぐら・採食水田確認個体数

○ねぐら ○水田

○ 100 500 2500
50

▲
首環・
足環個体

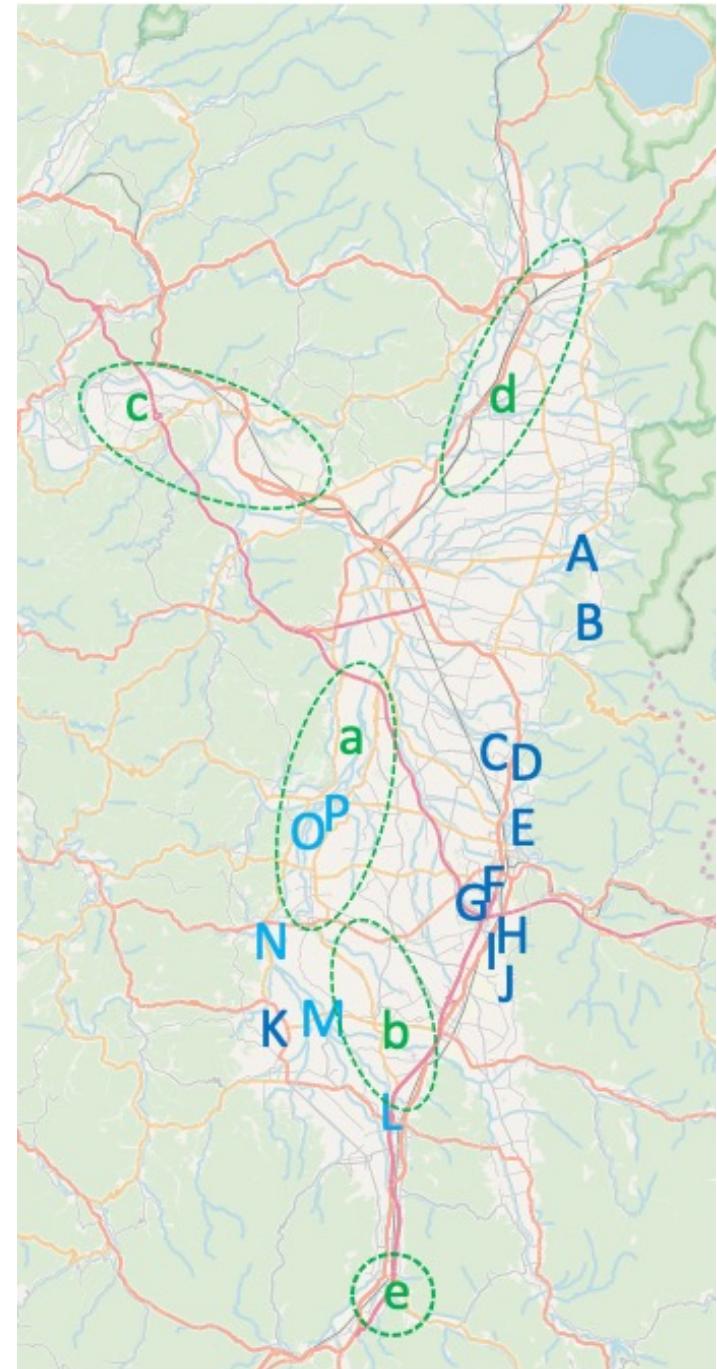
sentinel-2衛星NDSI解析
■積雪 □厚い雲の下

秋田県横手盆地の利用個体数

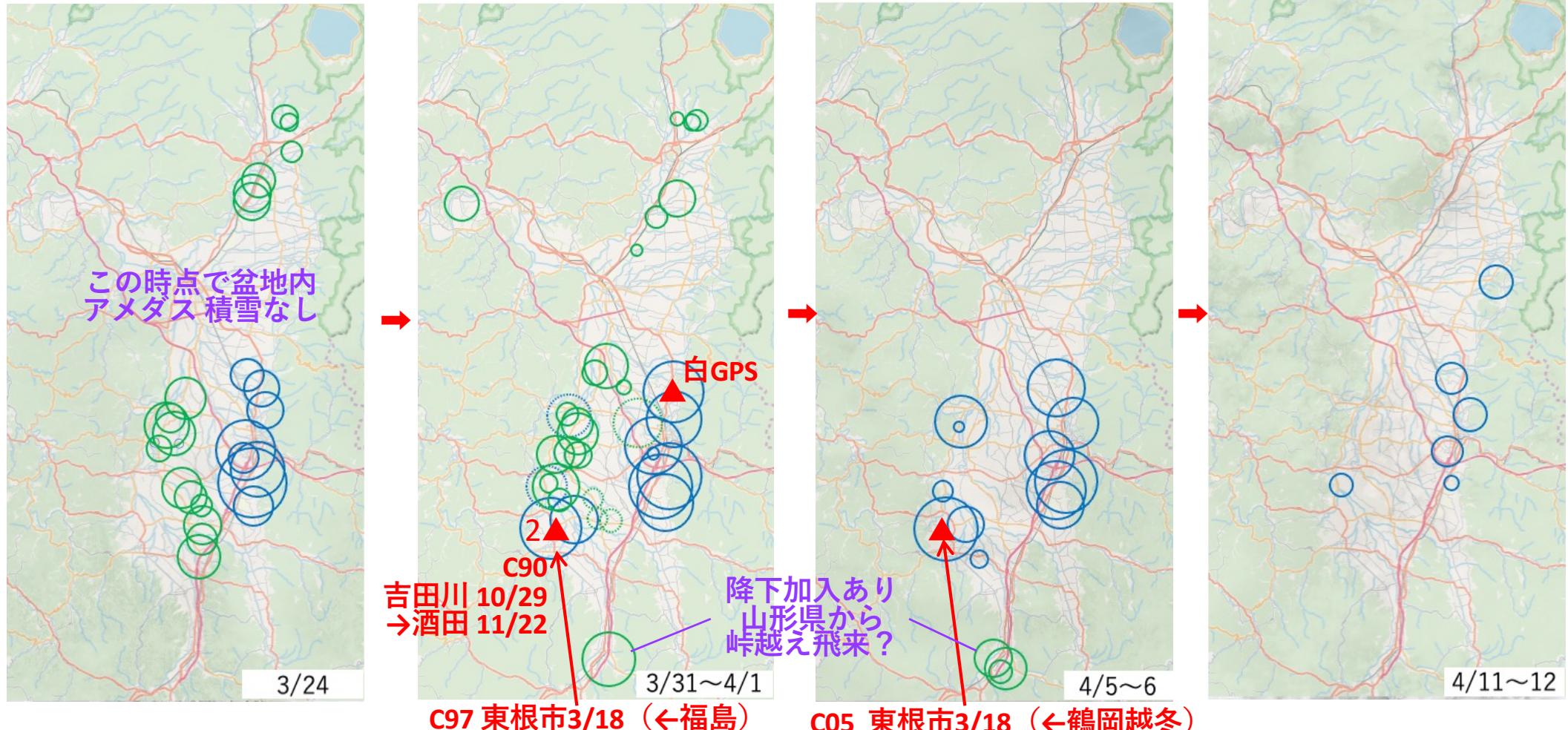
秋田県横手盆地		3/24	3/31~4/1	4/6	4/11-12
東部 ねぐら水域 (横手市街周辺)	A 一丈木溜池	-	-	-	132
	B 仏沢溜池	-	-	-	0
	C 西沼(雁の里)	125	3	0	-
	D 蛭藻沼	171	1,104	848	111
	E 明永沼	167	751	524	134
	F 田久保沼	1,059	857	481	107
	G 大沼(横手市平鹿町)	110	25	-	-
	H 大屋沼	770	1,682	1,338	6
	I 楠沢沼	2,200	1,394	982	31
	J 阿弥陀田沼	231	845	907	6
小計		4,833	6,661	5,080	527
西部 ねぐら水域 (雄物川沿(観察時間遅い))	K 足田堤**	-	1,187	1,733	0
	L 雄物川柳田橋	-	-	41	1
	M 雄物川今泉橋	-	411	161	0
	N 雄物川雄物川町大沢	-	242	49	60
	O 雄物川衛生センター付近	-	-	22	0
	P 雄物川山城堰	-	279	593	0
小計		-	2,119	2,599	61
水田	a 横手市雄物川周辺	1,077	1,655	-	-
	b 皆瀬川周辺	1,014	152	-	-
	小計	2,091	1,807	-	-
合計*		2,091	3,253	2,599	61
北部 水田	c 大仙市西部	-	144	-	-
	d 大仙市東部・仙北市	673	365	-	-
	小計	673	509	-	-
南部 水田	e 湯沢市相川	0	657	243	0
総計		7,597	11,080	7,922	588

*重複可能性があるねぐらと周辺水田は多い方を採用

**3/31の足田堤は3区分されたうち南側の池を見ていなかったのでもっと多かった可能性がある。



秋田県横手盆地の分布状況



2023 GPS首環+足環A89 村上市→横手市

2024 C64+C66 阿賀野市→雄物川町 (今回村上市→村山・尾花沢・新庄盆地北上)

標識鳥が少なく、他地域との関係に不明な点が多い

○ねぐら水域

○水田

○ 100
○ 500
○ 2500

まとめ2

- ・ 加美町から山形県に入ったコハクチョウは最上川沿いに日本海沿岸に向かうのではなく、雪の多い尾花沢盆地から村山盆地の融雪開始部まで南下して、再び尾花沢盆地や新庄盆地に北上していた。
- ・ 宮城越冬の個体ではないが村山盆地から秋田県横手盆地に達したものもあった。
- ・ 庄内平野から村山盆地へ月山道付近を通って多数が移動している可能性がある。
- ・ 山形県内陸盆地でもコハクチョウは少し雪の残る水田域を利用していることが多く、雪解けを追ってねぐらや採食場所が移動していた。
- ・ 雪解けが進んでいた横手盆地内では標識鳥が少ないとあってねぐらの移行などは確認できなかった。
- ・ 山形県の内陸盆地には新潟県や福島県などからの飛来も加わっていて9千羽以上を確認したが、北側の秋田県横手盆地でも同時期に1万羽以上を確認し、一連の内陸盆地は2万羽以上が中継地とする渡りルートになっていることがわかった。